

ホーリー・イノセンツ・エписコパル校との姉妹校交流

1. FMF MTP 2002 への参加と姉妹校提携

1996年(平成8年)、米国・クリントン大統領が訪日した際に、(故)橋本総理大臣から、フルブライト奨学事業の返礼としてフルブライトメモリアル基金(FMF)設立の申し出を行い、1997年(平成9年)より米国教育関係者の招聘事業(年間600名)が始まった。

この事業をマスターティーチャープログラム(MTP)といい、2000年(平成12年)からは、高等教育機関から小中高へと裾野を広げ、2002年(平成14年)、緑が丘小学校、宮の森中学校、そして、本校がこのプログラムに地域応募で参加した。この年、日本からは28校、米国からは24校が参加し、スタッフを合わせて総勢200名となった。

プログラムは、春季米国視察(3月)、米国教員の招聘(6月)、テレビ会議システムを利用した地域会議(7月)、BUGS and Soil プロジェクト及びペアプロジェクトを経て、テレビ会議で最終報告会を行うというものでした。このときペア校となったのが、アメリカ・ジョージア州・アトランタ市にある幼小中高生が通う私立のホーリー・イノセンツ・エписコパル校である。

この1年間のプログラムの終りに、テレビ会議で姉妹校提携を結び、姉妹校交流事業が始まりました。

2. 交流の概要

平成15年度、国際交流委員会の中に、姉妹校交流のワーキンググループが設置され、第1回交流事業の準備が進められました。当時、旭丘は、プレハブ校舎から引越し、いよいよ単位制の立ち上げという実に慌ただしい時期と重なっていました。以下、これまでの交流の概要をまとめました。

〔その頃を振り返ると〕

- | | |
|--------------|--|
| 1996年(平成8年) | 4月 クリントン大統領の訪日、FMFの設立(故橋本総理大臣) |
| | 7~8月 アトランタオリンピック(近代オリンピック開催100周年記念大会) |
| 1997年(平成9年) | FMFの米国教育関係者の招聘事業のスタート ◆参照◆ |
| 2000年(平成12年) | 9月 イット革命演説(森内閣総理大臣、イットとはITのこと) |
| 2001年(平成13年) | 1月 e-Japan 戦略、8月 新校舎引越、FMF参加要請、9月 同時多発テロ |
| 2002年(平成14年) | 3月 米国訪問、6月 米国教員の招聘、7月 地域会議、プロジェクトの実施 |
| 2003年(平成15年) | 3月 イラク戦争、姉妹校提携(TV会議)、ワーキンググループ設置 |
| 2004年(平成16年) | 1月 第1回派遣、4月 単位制のスタート、7月 第1回来校 |

◆FMF設立当初、米国参加者は、日本のハイテクに注目していました。トヨタ、ソニー、任天堂といった日本企業のイメージは、米国人に「日本では、どのようなハイテク教育をしているのだろうか」といった興味を起こさせたようです。しかし、行けども行けども日本の学校には、コンピュータすら満足にない窮状に驚き、愕然とし、米国帰国後は、異口同音に、そのことを報告書に書き綴ったそうです。その報告書を目にした日本政府の(教育)関係者は、危機感を募らせ、このプロジェクトにコンピュータ、インターネット、Eメール、テレビ会議などといった情報技術(IT)を逸早く導入することを決意したそうです。

ホーリー・イノセンツ・エписコパル校との姉妹校交流

項 目	概 要	年度
FMF MTP	2002 (平成 14) 年 FMF MTP (マスターティーチャープログラム) 担 当 中村志麻子 (英語)、奥井則行 (理科)、尾崎寿春 (理科) Mr.Timothy John Evans、Ms.Deborah Dean (Debbie) Temple、 Ms.Carol Lee Hahn 2003 (平成 15) 年 2 月 16 日 (日) 最終報告会〔テレビ会議〕	平成 14 年度
H I E S 姉妹校提携	2003 (平成 15) 年 3 月 28 日 (金) 調印式〔テレビ会議〕 本 校 島隆校長、青塚健一教頭、宮浦俊明教頭 生徒会長 小林博和君 (1 年 2 組) HIES Dr. Susan Groesbeck 校長 Mr. Rich Webb 高等部校長 Mr. Chris Swann 高等部教頭 Miss Emily Weprich 3 学年代表 その他 担当教職員、生徒会、生物部、メディア局、JAC	
第 1 回 H I E S 姉妹校交流 2003-2004	2003 (平成 15) 年 国際交流委員会、姉妹校交流ワーキンググループ設置 2004 (平成 16) 年 1 月 5 日 (月) ~ 13 日 (火) 本校→HIES 引 率 中村志麻子 (英語)、高瀬敏樹 (情報) 生 徒 1 2 名 (1 年 6 名、2 年 6 名)	平成 15 年度
	2004 (平成 16) 年 7 月 11 日 (日) ~ 19 日 (月) HIES→本校 引 率 Ms.Carol Hahn、Ms.Debbie Temple 生 徒 1 2 名	平成 16 年度
第 2 回 H I E S 姉妹校交流 2005-2006	2005 (平成 17) 年 7 月 6 日 (水) ~ 20 日 (水) HIES→本校 引 率 Ms.Carol Hahn、Ms.Debbie Temple 生 徒 1 2 名 (男 7、女 5)	平成 17 年度
	2006 (平成 18) 年 1 月 5 日 (木) ~ 12 日 (木) 本校→HIES 引 率 中村志麻子 (英語)、植田珠代 (英語) 生 徒 1 2 名 (1 年 6 名、2 年 6 名) (男 3、女 9)	
第 3 回 H I E S 姉妹校交流 2007-2008	2007 (平成 19) 年 7 月 3 日 (火) ~ 16 日 (月) HIES→本校 引 率 Mr.Gerard Gatoux、Dr.(Ms.)Cathy Doering、 Ms.Carol Hahn、Ms.Debbie Temple 生 徒 8 名 (男 4、女 4)	平成 19 年度
	2008 (平成 20) 年 1 月 7 日 (月) ~ 15 日 (火) 本校→HIES 引 率 岩本隆教頭、林清隆 (英語) 生 徒 1 0 名 (1 年 7、2 年 3) (男 1、女 9)	
創立 5 0 周年記念	2008 (平成 20) 年 11 月 2 日 (日) ~ 8 日 (土) HIES→本校 引 率 Ms.Carol Hahn、Mr.G.Gatoux 生 徒 Tiffany Tang、C.J.James	平成 20 年度
第 4 回 H I E S 姉妹校交流 2009-2010	2009 (平成 21) 年 7 月 12 日 (日) ~ 20 日 (月) HIES→本校 引 率 Ms.Robin Gafford、Dr.(Ms.)Cathy Doering 生 徒 7 名 (男 3、女 4)	平成 21 年度
	2010 (平成 22) 年 1 月 4 日 (月) ~ 12 日 (火) 本校→HIES 引 率 千葉順世 (英語)、芦田朋美 (理科) 生 徒 8 名 (1 年 4、2 年 4) (男 1、女 7)	
第 5 回 H I E S 姉妹校交流 2011-2012	2011 (平成 23) 年 7 月 10 日 (日) ~ 18 日 (月) HIES→本校 引 率 Ms.Robin Gafford、Dr.(Ms.)Cathy Doering、Mr.G.Gatoux 生 徒 9 名 (男 1、女 8)	平成 23 年度
	2012 (平成 24) 年 1 月 4 日 (水) ~ 12 日 (木) 本校→HIES 引 率 菅原善之 (英語)、成田英行 (国語) 生 徒 1 2 名 (1 年 7、2 年 5) (男 1、女 11)	